



俵みこし

一月第二土曜日に行われる奇祭大俵引きは、四百余年の伝統を誇る雄大かつ豪快華麗な正月行事で、町の目抜き通りで日没後にかがり火や提灯の明かりの中で行われます。長さ五尺、直径三尺、重さ三トンの大俵を町内の若者が上手と下手とに分かれて引っ張り合い、上手が勝つと米の値段が上がり、下手が勝つと豊作になるといわれています。五穀豊穡と開運を願う下帯一本の裸祭の奇祭です。この日は無病息災を祈って、三六五個の小俵（福俵）と紅白の大福もちがまかれ、一日中賑わっています。

大俵引き



福俵

